

長周期地震動対策に関する公開研究集会

日本建築学会構造委員会の本委員会直属 WG では、4 年間にわたって、長周期地震動の特徴、それを受ける超高層建物の揺れと被害、地震直後の判定や復旧対策、被害を軽減するための予防策、今後の課題等を広範に検討してきた。本研究集会では、これらの成果を報告することによって、長周期地震動を受ける超高層建物の実相、被害を未然に防ぐために取るべき対策、さらにはこれから懸命に研究しなければならない課題を明らかにしたい。

主 催：日本建築学会 構造委員会 長周期建物地震対応 WG

日 時：2011 年 3 月 4 日（金）13:00～15:00

場 所：読売理工医療福祉専門学校 5 階 503 教室（東京都港区芝 5-26-16、建築会館となり）

<http://www.yomiuririkou.ac.jp/access/>

プログラム：

司会 田村和夫（清水建設） 副司会 東野雅彦（竹中工務店）

- | | |
|----------------------|-----------------|
| 1 挨拶 | 中島正愛（京都大学防災研究所） |
| 2 主旨説明 | 北村春幸（東京理科大学） |
| 3 対象とする巨大地震と地域 | 吉村智昭（大成建設） |
| 4 超高層建物の揺れと構造被害 | 小鹿紀英（小堀鐸二研究所） |
| 5 家具・非構造部材・設備系の被害 | 金子美香（大崎総合研究所） |
| 6 地震後の応急危険度判定と早期復旧対策 | 勝俣英雄（大林組） |
| 7 被害シナリオと備え | 瀬谷 均（竹中工務店） |
| 8 社会への啓発 | 福井 潔（日建設計） |
| 9 質疑・討論 | |
| 10 まとめ | 福和伸夫（名古屋大学） |

3～8 は発表 10 分＋若干の質疑

定 員：100 名（当日会場先着順）

参 加 費：無料

問 合 せ：日本建築学会事務局 今井

Tel:03-3456-2057 Fax:03-3456-2058 E-mail:imai@aij.or.jp